

LGBTQ+／SOGIE施策の取組状況について

本市は、誰もが持つSOGIE（ソジー：性的指向、性自認、性表現）の多様性が尊重され、LGBTQ+を含むすべての市民が、自分自身を大切に、自分らしく生き、互いを認め合える「ありのままがあたりまえ」のまちを目指しています。

つきましては、今年度の主な取組状況について報告します。

1 パートナーシップ・ファミリーシップ制度

人生のパートナーや大切な人を家族として届け出たことを市が証明する本制度については、本年1月末時点で60組の方々から届出を受理しています。

昨年4月には兵庫県も同制度を導入しており、その後創設された全国的なパートナーシップ制度自治体間連携ネットワークに本市も加わりました。

今後も近隣自治体と連携し、当事者に寄り添いながら取り組んでいきます。

2 専門相談窓口「明石にじいろ相談」

SNSを活用した周知や、研修や出前講座などの機会を捉えた案内を継続して行っています。本年1月末時点で27件の相談がありました。ただ相談を受けるだけでなく、内容に応じた情報提供や支援を行っており、今後も更に周知を図りながら、効果的な運用を行っていきます。

3 研修・出前講座

児童・生徒が「性の多様性」の正しい知識を得るとともに、自分も相手も尊重することの大切さを学ぶ機会を提供するため、小学校14校、中学校4校、高校1校（予定）で出前講座を実施しました。教職員に対しても、階層別研修や学校単位の研修を行っています。

また、地域の市民を対象とした出前講座等では、性のあり方は多様であることや、誰もが持つ「自分らしさ」を大切にしようことを重視してお伝えしています。

今後も、研修や出前講座を通じて、市民理解の促進を図っていきます。

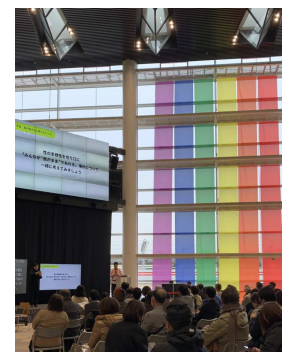


【出前講座の様子】

4 啓発の取組

本年1月から2月末までの啓発キャンペーン期間中に、市民向け講演会、セミナー、パネル展示等を開催し、多様な性のあり方や自分らしさを尊重する意識のさらなる醸成を図りました。

また、どんなソジーも大切に、誰もが安心して働くことができる職場環境づくりが進むよう、企業セミナーを継続して開催するほか、「あかしソジトモスターカンパニー制度」を活用した企業・学校・病院等における職場環境整備の取組も促進しています。



【市民向け講演会の様子】